

## 6月の星空

### アンタレスと火星、どっちが赤い？

5月31日に地球に最接近した火星は、2年2カ月ごとに地球との接近を繰り返します。今年はさそり座あたりでの接近なので、さそり座の1等星アンタレスとの赤さくらべが、楽しみのひとつになりそうです。明るさでは、-2等級の火星が圧勝ですが、赤さではアンタレスが勝っているように見えます。6月の中旬になると、21時頃には南の空に見えますので、アンタレスと火星の赤さ対決をご覧くださいになってみてはいかがでしょうか。

### さそり座

サソリは、オリオンを毒針で倒した功績が認められて星座になりました。オリオンは巨人のように背が高く、美男子で腕の良い狩人でした。しかし、乱暴な振る舞いで皆を怖がらせ、「この世の中に私の相手になるものはいない」といばって大きいことを言うオリオンに、神々は腹を立てました。そこで大神ゼウスの妃ヘラは、オリオンをこらしめるために一匹の大サソリを待ちぶせさせたのです。そこを通りかかったオリオンは、大サソリに足を刺され、倒されてしまいました。オリオンも星座になりましたが、今でもサソリを恐れて、サソリが沈むのを待って、東の空から昇ってきます。



### 6月3日 土星が衝(※)

土星が6月3日に衝を迎え、一晩中見えるようになってきました。6月の初旬なら22時頃、中旬なら21時頃、南東の空を見ると、明るい星がいくつか見えます。その中で特に明るくオレンジ色に輝いているのは5月31日に最接近した火星、その東(左)に、やや黄色がかった輝きを見せているのが土星です。見かけ上、環がなくなった2009年から7年が過ぎ、環の傾きが大きくなりました。観望の絶好期です。「きらら号」の望遠鏡で見ると土星の環をきれいにみる事ができます。  
※衝…惑星や衛星が地球から見て太陽と正反対の位置にくること。

### 春の夫婦星を見よう

うしかい座のアークトゥルスは、日本では麦の刈り入れの時期の日暮れ時、頭上に輝くことから「麦星」と呼ばれ親しまれています。一方、おとめ座のスピカは、白く輝き、「真珠星」と呼ばれています。このアークトゥルスとスピカは一对の星と見られ、「春の夫婦星」と呼ばれています。この二つの星の色の違いは、表面温度の違いによるものです。アークトゥルスが約4千度なのに対し、スピカは2万度という高さです。この夫婦星はアークトゥルスが秒速125kmのスピードでスピカの方に近づいているため、約6万年後には文字通りの夫婦となって仲良く並んで輝く姿が見られるかもしれません。

GINGA PORT401内で撮影

## 6月30日はアインシュタイン記念日

今から111年前の1905年6月30日、現代物理学の父アインシュタインが特殊相対性理論に関する論文「運動物体の電気力学について」をドイツの物理雑誌『アナーレン・デル・フィジーク』に提出しました。

その10年後の1915年から1916年にかけて、特殊相対性理論をさらに進化させ、「一般相対性理論」を完成させました。アインシュタインは、時間や空間は絶対的なものではなく、

見る立場によってことなる相対的なものだと考えました。この考え方により、「光速に近づけば近づくほど物は縮み、時間は遅く進むこと」が導かれました。これが特殊相対性理論です。

さらに特殊相対性理論に重力を組み込んだのが、一般相対性理論です。重力は空間だけでなく、時間の進み方もゆがめてしまうという考え方です。

この二つの理論は磁石が鉄にくっつくメカニズムやGPSで正確に位置を割り出す技術など、私たちの生活に深く関わっています。アインシュタインの理論は、現代の物理学にとっても必要不可欠なものなのです。

### 〈一般番組〉

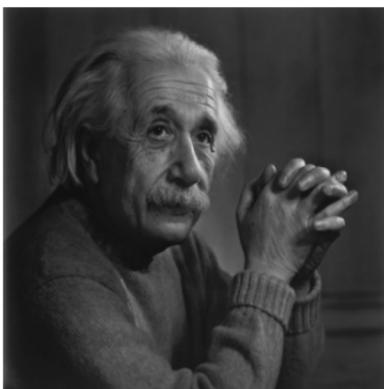
#### 「コズミックフロント～時間旅行～」

6月14日(火)～9月4日(日)

NHK番組「コズミックフロント」のプラネタリウム版です。

アインシュタインが導いた理論から、宇宙を織りなす時間と空間の謎にせまります。

最新宇宙科学の興味深い研究をお楽しみください。



## ★★観望会★★



《 博物館主催きらら号観望会 》 《 天文ボランティア主催観望会 》  
日時：6月25日(土) 日時：6月4日(土)  
時間：19時30分から21時 時間：19時00分から20時30分  
場所：市民公園 場所：市民公園  
内容：木星と火星と土星を見よう 内容：木星と火星を見よう  
※きらら号は出動しません。

※天候不順時は中止です。

### 6月の月

5日



新月

12日



上弦

20日



満月

28日



下弦

## 編集後記

6月といってすぐに思い当たる言葉は梅雨でしょうか。これからの時期、天体観測は難しい日が多くなりそうです。梅雨時の晴れ間のことを「梅雨の合間の晴れ」と言い、梅雨入り直後の頃は晴れの日が多くあります。星空を見るチャンスかもしれませんね。

